

柏市男女共同参画推進審議会からの意見

柏市男女共同参画推進審議会は、柏市附属機関設置条例により位置づけられ、男女共同参画に関する総合的な施策の推進に関する審議を行うこととなっています。

そこで、審議会での委員による率直な意見交換を踏まえ、男女共同参画推進計画に基づく施策およびその進行状況についての意見を提出します。

平成29年3月29日

柏市長 秋山浩保 様

柏市男女共同参画推進審議会
会長 大村芳昭

「平成27年度柏市男女共同参画推進計画（後期）進行状況報告書」に
ついて

このことについて、別紙のとおり意見書を提出します。



1 総合意見

現在、女性の活躍推進、ワーク・ライフ・バランスの実現など、男女共同参画社会を実現するための取り組みがますます重視されてきている。

女性を取り巻く様々な情勢を見ながら、男女が自らの意思に基づき、それぞれのライフスタイルに応じて個性と能力を十分に発揮できる豊かで活力ある社会に向けて、市の各分野での施策を進めていく必要がある。

平成27年8月、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律が成立し、柏市においては、平成28年度から第三次柏市男女共同参画推進計画がスタートした。女性活躍・男女共同参画に向けた取組は、新たなステージに入っている。

今後も、全庁的に各部署が男女共同参画の視点を持ちつつ、「男女が平等に暮らすまち柏」が更に発展し、新たな課題とともに計画の推進を図るよう要望する。

2 各課題についての意見

(1) 指標達成度の検証と市民への周知について

平成27年度は第三次柏市男女共同参画推進計画の策定に向けて、本計画の指標に対する達成度の検証を進めるとともに、社会情勢やニーズに対応する将来的な課題を盛り込みながら進めてきた。

最終的に未達成であった指標については原因等を検証し、別の角度からのアプローチを試みたり、今後の計画や施策に反映させるなど、引き続き丁寧なフォローを望む。

また、各事業や取組の周知については、市民イベントや事業者団体等と協働で行い、市民にインパクトを与えるような周知方法を工夫するなど、積極的な広報に努めていただきたい。

(2) 計画の進捗管理について

平成28年度からスタートする第三次柏市男女共同参画推進計画について、課題指標と達成度を市民に分かりやすく示しながら、進捗管理を行って欲しい。

男女共同参画に関する各課題のつまずきやDV等のハラスメントの原因のひとつに、性別役割意識が根深く残っていると考えられる。意識や行動の改革はすぐに効果が現れるものではないが、各事業担当部署が、市民の自発的な気付きや意見を得ながら事業を進め、達成のための方策を講じてもらいたい。

(3) 柏市男女共同参画センターでの事業展開について

平成28年5月に柏市男女共同参画センターがパレット柏内に設置された。市民活動や文化活動、交流事業を行う上で、市民自身が男女共同参画の視点を持つことは重要である。今後は、立地条件の良さを活かして、来館者や利用団体はもとより、市全域の多様な市民に対して、拠点施設として啓発対象層の開拓と情報発信に力を入れていってほしい。